

## 市立豊中病院ニュース



## 4月から 「豊能広域こども急病センター」がオープン

- ◎本年4月1日から「豊能広域こども急病センター」がオープンします。
- ◎夜間・休日の小児救急は、**すべて同センターが担当します**。大変ご不便をおかけしますが、同センターの設立趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。
- ◎豊能広域こども急病センターのオープンに伴い、**当院の診療時間は下記のとおり**となります。

	0時	7時	9時	15時	17時	19時	24時
月曜日	豊	豊生堂取田		市			豊
火曜日	能	市立吹田、箕面市立		立			能
水曜日	広急	市立池田		豊			広急
木曜日	域病	市立吹田、箕面市立		中			域病
金曜日	こせ	市立池田		病			こせ
土曜日	どん	箕面市立		院			どん
日曜日	も夕	市立吹田、市立池田				豊中市医療保健センター 豊中市立保健センター	も夕
祝日	豊能広域こども急病センター	月・水・金・土曜日 上記曜日の若当病院		豊中市医療保健センター 豊中市立保健センター			豊能広域こども急病センター

☆豊能広域こども急病センターの受付開始は診療開始の30分前から、

受付終了は診療終了の30分前までとなっております。

☆豊能広域こども急病センターでは15歳未満の小児を診療します。

☆ケガ、骨折、やけど、異物の飲み込みは当院の救急診療科へご相談ください。

☆豊能広域こども急病センター等で入院が必要と判断された場合は、豊中、箕面、吹田、池田の各市立病院と済生吹田会病院が交替で入院の対応をします。



### 豊能広域こども急病センター

072(729)1981

平成16年3月までは開設準備室 072-727-9526



## 病院運営健全化計画をつくりました

### 病院運営健全化計画とは？

新築後6年を経た当院の現状と、医療制度改革の方向性（＝医療機関の機能分担）を検討した結果、当院が地域で果たすべき役割と今後の目標を明確にしなければならぬと考え、策定した計画です。

### キーワード①

「医療機関の機能分担」

限りある医療費財源を効率的に使用するため、各医療機関が地域の中でそれぞれの特色に応じた役割分担で医療を供給するという考え方。

### キーワード②

「急性期医療」

手術や集中治療が必要とされ、その後には高度な検査や手厚いケアを要するような一連の局面に対する医療。

### 計画の基本目標

（市立豊中病院の役割と目標）

「市民の信頼に応え、地域の急性期医療中核病院として高度で良質な医療の提供を行う地域医療支援病院を目指す」といたしました。



この計画にもとづき、どういことをするのか？・・・《四つの基本施策》

「患者満足度の向上」……インフォームドコンセントの充実、待ち時間の短縮など

「医療の質の向上」……がん診療の充実、より一層の医療安全の追求など

「地域医療機関との連携」……地域全体で医療をささえるしくみの確立

「経営状況の改善」……費用削減と収入確保の取り組み

※病院運営健全化計画の詳細についてのお問い合わせは、市立豊中病院経営企画室 TEL06-6843-0101（内線3566）まで  
計画全文は市立豊中病院ロビー・市役所市政情報コーナーのほか、病院ホームページでもご覧いただけます。

市立豊中病院では、平成9年11月新築移転以来、「心豊かな信頼される医療」の提供を基本理念として、市民の健康を守るため、安全で質の高い医療をできる限り多くの方に提供すべく、努力をつづけて6年間が経過いたしました。しかし、開院当初から一般外来、救急受診、入院のいずれにも、人的・構造的に診療能力を超えた多くの患者の方々が来院され、基本理念が十分に実行できているとは言えない状態です。このため、将来に向けて地域における病院の役割、運営の健全化を各部門各層の職員が模索し、基本原案を構築いたしました。その後、具体的な実施計画、数値目標を設定し、各診療科、診療部門との調整を重ね、最終的には病院運営審議会での審議と市民への意見公募を経て、このたび豊中市長にあてて答申されました。本計画は、真に基本理念に沿った医療を提供できるよう、市民の皆様が病院が果たすべき役割をご理解いただき、全職員挙げて努力していくための指針であります。

病院長 松山 辰男

詳しい内容については、今後シリーズで掲載します。